四国ブロック商工会議所青年部連合会活動報告

四国ブロック YEG
会 長 栗田 憲吾

本年度は高松ＹＥＧとして２４年に一度しか経験することのできない四国ブロック大会の開催をすることができました。そして私自身も、高松ＹＥＧからは２４年に一度しか輩出できない平成２４年度日本ＹＥＧ四国ブロック代表理事・四国ブロックＹＥＧ会長という役職を拝命し、日本ＹＥＧ執行部会議や役員会に始まり、全国９ブロックで開催された春の会長会議、秋のブロック大会、そして全国会長研修会など毎週のように全国を駆け巡りました。また、四国ブロックＹＥＧ会長として四国ブロック役員会はもちろんのこと、四国各地の県連や多くの単会にもお伺いしました。

スケジュールの大半をＹＥＧ活動に費やした一年でしたが、使った時間・費用の対価として、何事にも代えられない全国の素敵な同志との出逢いや全国各地の素晴らしいＹＥＧ活動を知ることができました。

平成 25 年度は高松ＹＥＧ創立３０周年を迎えます。この経験を活かし、本当の意味で高松を支える青年経済人としての活動を目指して様々なことにチャレンジしていきたいと思います。

四国ブロック大会実行委員会

実行委員長
梶 聡一朗

委員長経験のない中スタートした大役で、当日まで皆さんにご迷惑をおかけしながら進めてきましたが、多くの方々のお力添えで無事に大会を行うことができました。

スタート直後はブロック大会は誰の為にあるものか分からずにいましたが、大会を終え振り返ってみて、「主管する単会の未来のため」ということを認識しました。ひとつの目標に向かって進んでいくうちに連帯と連携が生まれ、共に物事の本質を考えるようになりました。この経験はきっと今後の高松ＹＥＧ活動に活かされるものと強く感じております。

この一年間の活動のなかでの経験と、高松ＹＥＧメンバーはもちろん、香川県青連をはじめ四国ブロックＹＥＧや日本ＹＥＧの数多くのメンバーと知り合うことができたことはかけがえのない財産となりました。ありがとうございました。　感謝！感謝！感謝！

平成 24 年 新入会員ご紹介

TAKAMATSU YEG NEW FACE

- ●テンキー（株）
  代表取締役　猪塚　栄治
- ●（株）浜崎
  専務取締役　濵﨑　直哉
- ●丸和給食（株）麺処綿谷高松店
  笹尾　岳志
- ●（株）エルジオ　四国支店
  四国支店支店長　廣野　佳成
- ●（株）エファーナ
  代表取締役　大山　剛
- ●BAR SNOW
  代表者　江原　幸邦
- ●建生工業（株）
  代表取締役　公文　健二
- ●（有）シィーアンドディー
  取締役専務　岡林　秀樹
- ●BAR Baccarat
  オーナー　奥野　繭衣

（順不同）

新入会員募集中
詳しくは高松商工会議所青年部
事務局までお問い合わせください
087-825-3505

高松YEG通信

高松商工会議所青年部
Young Entrepreneurs Group
第 08 号 高松 YEG 通信
編集･発行／高松商工会議所青年部
平成 25 年 3 月 1 日発行
vol.08

平成 24 年度 高松 YEG 会長所信

思いを力に 絆を力に

会長挨拶

高松商工会議所青年部
会 長　西尾 公利

平成２４年を振り返って

昨年は、日本商工会議所青年部四国ブロック大会高松大会という大きな大会をメンバー一同の創意、尽力により約６００名のＹＥＧメンバーにお集まりいただき、無事成功を納めることが出来ました。梶実行委員長を筆頭にご尽力いただいた全ての皆さんに心よりお礼申しあげます。

本年、先輩方、商工会議所や関係機関、そして全国のＹＥＧメンバーに支えられ、私たち高松ＹＥＧは３０周年を迎えることができます。我々ＹＥＧの目的は、我々それぞれの会社の雇用を守り発展させ、地域社会基盤を支えることです。全国会長研修会、四国ブロック大会は通過点に過ぎません。３０周年という節目を迎え、我々が成長することができたお礼と感謝を改めて胸に刻み、それぞれが成長し、刺激し合い、組織として発展できるようにメンバー一丸となって進んでいきたいと思います。

「世に生を得るは事を成すに有り」坂本龍馬の言葉です。
夢、目標を持ち、追い続け、実現に向けて成長してまいりましょう。

会員間の情報交換に Angel Touch（エンジェルタッチ）を有効に利用しましょう

高松 YEG は、YEG 情報化ツール「Angel Touch」（通称 AT）の利用を本格化しています。
スケジュール作成や電子会議室など多彩な機能が充実しています。操作に不明な点があれば、事務局までお問い合わせください。

https://at.yeg.jp

YEG宣言

私はYEGとして、夢に挑む。
私たちはYEGとして、地域を愛する。
すべてのYEGは、連帯の証となる。

「YEG」(若き企業家集団) とは商工会議所青年部の英語名 (Young Entrepreneurs Group) の頭文字をとったもので、同時に商工会議所青年 部の持つコンセプト (若さ、情熱、広い視野) を持った経営者＝Youth,Energy, Generalist を表している。

平成２４年度
高松商工会議所青年部委員会活動報告

総務委員会

委員長
廣瀬 雄二

総務委員会は、会員名簿・ホームページ・名刺・会報誌「YEG 通信」の作成に携わりました。また６月の定時総会、恒例となりました１０月の大西高松市長との懇談会、３月の臨時総会を担当しました。

四国ブロック大会高松大会では、第３分科会の“瀬戸内サンセットクルージング～ＹＥＧ船長とゆかいな仲間達～”を担当し、参加された方には心に熱い何かを持ち帰っていただけたと思います。

社会貢献新事業の検討については、年間を通じて議論を重ね一定の方向性を示すことができたのでないかと思います。

今期の委員会活動では、真剣に事業に取り組むことにより、一所懸命さと楽しさを両立させることができたと思います。同じ目的に向かって共に歩んだ仲間と育んだ絆は、今後のＹＥＧ活動にも大いに生きてくる財産だと思います。また、この経験が各自の自己成長、各自の企業の発展に活かされることを期待しています。

想いを力に絆を力に繋げていける委員会活動でした。

研修企画委員会

委員長
十川 美加

研修企画委員会の事業は、「ＹＥＧ」とはどういった目的で存在する団体なのかを、事業を通して考える企画運営をしております。今期前半は、昨年に引き続き高松まつりのイベントの一環としてサンポート高松において、「サンセットビアガーデン」の食ブースを企画運営しました。企業を運営するにあたって重要な人材の獲得を、ＹＥＧメンバーの参画に例え実験を試みました。従来の個人に任せるより、チームポイント制にした方がモチベーションが上がるのではないかなど、色々実験でき、有意義な事業となりました。

四国ブロック大会高松大会では、各単会の会長、会長に準ずる会員対象に、四国ブロックＹＥＧの連携について討議する企画を立案運営しました。冒頭の「ＹＥＧ」とはどういった目的で存在する団体なのかを改めて各単会の会長に再確認していただき、そのうえで四国ブロックＹＥＧの在り方、連携について討議を実施。今後に繋げていくためのキックオフになったかと思います。

その他、メンバーが日本ＹＥＧ翔生塾で学んできた「ランチェスター経営」についての研修会、高松ファイブアローズの星島社長を迎えての講演会など、メンバー相互の学びの場になる機会になることを願い実施した１年でした。

最後になりますが、皆さんのご協力を賜り１年無事に運営できたことを感謝いたします。ありがとうございました。

ビジネス支援委員会

委員長
北谷 昌照

ビジネス支援委員会の今年の事業としては、８月例会を担当し、インターネットを活用してＹＥＧ会員間のビジネスの広がりを目的としたスマートフォンのアプリを有効に活用できるよう、スマートフォンの概要及び使い方を理解するための勉強会を開催しました。講師として当委員会の川西副委員長がパワーポイントで説明を行いました。
参加されたＹＥＧメンバーの方から様々な質問が出されて参加者の関心が高い例会を行うことができ、また内容も充実したものとなり、委員会メンバーも大変勉強になりました。

サンセットビアガーデンでは、食ブース担当で牛タンを焼いて販売をしました。最初に３日間の牛タンの仕入れ数を聞いてそんなに仙台から仕入れて一体どうするんだと思いました。価格も高いのでは･･･とも思いましたが、３日間牛タンを全力で焼き、完売しました。お手伝いをいただいたメンバーに感謝しております。

交流委員会

委員長
清水 弘行

交流委員会は、高松ＹＥＧ内外の会員間の交流を深めることを目的として活動してきました。

今年は、仙台ＹＥＧと友好提携の調印が実現しました。仙台 YEG の方々とは全国会長研修会をＰＲしているときから交流を深めてきましたが、友好提携という形にすることができたことを関係者の皆様に感謝しています。

高松ＹＥＧ内の交流事業として家族交流イベントを開催し、会員間だけでなく家族の方にも参加していただくことで通常の例会や委員会とは違う雰囲気で交流を深めることが出来ました。そのほか、例会事業でも会員間の交流を目的として事業を行いました。

２月には友好提携を結んでいる根室 YEG と連携をとりながら、事業の開催を予定しております。

香川県商工会議所青年部連合会活動報告

香川県青連
会 長 宮内 吉和

「連携と交流」このスローガンの下一年間活動をしてまいりました。県下ＹＥＧメンバーに出会え交流し、特に正副会長会議（６単会会長）は月１回開催し、いろいろな話し合いができました。その中で生まれた連携と交流を継続し本物にして行きたい！と行動しています。その思いを共有し一緒に出向し、県青連親睦事業「逆手ボウリング大会」などの企画運営を担当した、綾野・谷本両名には深く感謝をしています。「ありがとうございます！」皆さんも、機会があればぜひ、県青連に出向をしてください。必ず何か得るものがあります。なぜなら、私自身が一番勉強になり、多くのものを得たからです。

また、栗田ブロック代表理事の下、四国ブロックＹＥＧ副会長・日本ＹＥＧ理事も経験させていただき全国各地に行きました。全国各地のメンバーにも出会え、日本中には素晴らしい人間力を持ったメンバーが大勢いることを知り、そのメンバーとＹＥＧを通して友情もできました。　この機会をいただいた高松ＹＥＧのメンバーに感謝をします。　感謝